

§0-2. 本研究の目的

本研究は、感情的側面における色彩と香りの関わりに着目したものである。その目的は、色彩と香りの感情次元を抽出すること、そして、その次元上での両者の調和性に関して検討することである。

色彩と香りの感情次元の抽出に関して、大きく分けて3段階の検討を行なう。色彩の感情次元に関する研究は比較的古くからなされているが、香りのそれは非常に少ない。そこでまず、色彩の感情次元、香りの感情次元のそれぞれの抽出を試み、共通点などを検討する。次に、色彩と香りを組み合わせた場合の感情次元の抽出を、2通りの実験設定（色の空間から香りを嗅ぐ／色のビンから香りを嗅ぐ）によって各々試みる。設定の異なる組み合わせ条件間で、感情的構造に違いがあるか否かに着目すると共に、色彩、香りの各々の感情次元の結果と比較し、組み合わせることによる構造変化が生じるか否かを検討する。最後に、色彩と香りを同次元で捉える感情次元の抽出を試みる。一連の検討を通し、安定的な色彩と香りの感情次元を導き出すことを目指す。

同時に、感情次元上での色彩と香りの調和性に関する検討を行なう。まず、香りに対する調和色の検討、及び、色彩に対する調和香の検討の双方から、調和ペア、不調和ペアを検討する。特に、感情次元における色彩、香りそれぞれの意味との関わりに着目する。次に、これらの色彩と香りの調和ペア、不調和ペアを用い、組み合わせによる心理的効果に関して、2通りの設定（色の空間から香りを嗅ぐ／色のビンから香りを嗅ぐ）の実験により検討する。中でも、調和ペアでは色彩と香りの相互的影響により、相乗的効果が得られるか否かに着目する。最後に、色彩と香りの感情次元における両者の調和性の検討へと移る。具体的には、色彩の感情次元における香りの調和性の検討、及び、香りの感情次元における色彩の調和性の検討の各々を試みる。その結果を踏まえ、色彩と香りを同次元で捉える感情次元における両者の調和性を検討する。

以上の全ての実験を通し、色彩と香りの感情次元における両者の調和性に関して、一定の法則的結論の導出を目指す。